

Newsletter ニュースレター



Epilachna yasutomii
レイヨウマダラテントウ

日本甲虫学会 *Coleopterological Society of Japan*

HP: <https://coleoptera.sakura.ne.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/coleopterology>

Twitter 日本語アカウント : <https://twitter.com/kochugakkai>

英語アカウント : https://twitter.com/Coleopt_Soc_Jpn

会員限定ページ : <https://coleoptera.sakura.ne.jp/members-only.html>

(ユーザー名:、パスワードはさやばね和文誌さやばね 48 号(2022 年 12 月 25 日発行)およびニュースレターのメール配信版 54~78 号に掲載しています。

新年あけましておめでとうございます。

日本甲虫学会会長 久保田耕平

2026 年は私にとって日本甲虫学会会長として最後の 1 年となります。学会運営に関しましては、昨年の倉敷大会でもお話ししましたように、Elytra new series の電子化、会員管理システムの導入等の課題を確実に前進させていきたいと思っています。

今年度の行事として、調査観察例会を昨年と同じ鳥取県大山でより早い時期に開催予定と聞いております。また大会は、岸本年郎会員のお世話になって 11 月 14 日(土)~15 日(日)にふじのくに地球環境史ミュージアムで開催予定です。

今年は 2 年に一度の役員選挙の年でもあります。2 年後の次々回以降はオンライン上の電子投票が導入されているかもしれません、次回についてはこれまで同様に郵便での投票となります。投票率の向上に皆様のご協力をお願ひいたします。

個人的にはブナ帯の虫が好きなので、昨年も道南、東北、中部~東海地方の各地を回りましたが、どこもクマの出没が問題となっているようで、これまでになく注意を払いながらの活動となりました。実際にクマと遭遇する頻度もしだいに高くなっているように思います。これまでに出会ったすべての野生のクマは、ヒグマもツキノワグマも自らおとなしく立ち去ってくれましたが、その常識はいつまで通用するのでしょうか・・中国での調査では、よくヒョウやジャイアントパンダ(野生個体は意外と危険)の生息地であるという看板を見かけましたが、危険を周知する目的ではなく、希少生物の生息をアピールするために設置されているもので、ハイキング道で遭遇できるレベルの密度ではないとのことでした。今や東日本のブナ帯の方が危険なのでしょうか・・必要な対策が取られて、虫屋を含めすべての方々が安全に山歩きできるような環境が戻って来ることを願わざにはいられません。

最後になりましたが、今年も様々な機会で皆様とお会いし、お話できることを楽しみしております。今年もどうかよろしくお願ひいたします。

大会例会ご案内

■年次大会

日程：2026年11月14日（土）～15日（日）
会場：ふじのくに地球環境史ミュージアム（静岡市）

■地域ファウナ調査会

<https://coleoptera.sakura.ne.jp/event/saisyu/daisen2026.html>

日程：初夏（5月30日（土）～31日（日）で調整中）
調査場所：「鳥取県大山町大山寺周辺のブナ林」

■春季例会

（案内、記録とも、くわしくは各地域例会のページへ）

●東京 Tokyo

<https://coleoptera.sakura.ne.jp/event/tokyo/tokyo.html>

3月14日（土）変更になりました！

東京例会担当 野村 周平

E-mail nomura@kahaku.go.jp

●名古屋 Nagoya

<https://coleoptera.sakura.ne.jp/event/nagoya/nagoya.html>

3月15日（日）

名古屋例会担当 生川 展行

E-mail : tritoma@mecha.ne.jp

●大阪 Osaka

<https://coleoptera.sakura.ne.jp/event/osaka/osaka.html>

3月14日（土）

大阪例会担当 澤田 義弘

E-mail sawada-f@gol.com

Elytra (NS) 15巻2号 を発刊

[https://coleoptera.sakura.ne.jp/publication/elytra/ElytraNS15\(02\).html](https://coleoptera.sakura.ne.jp/publication/elytra/ElytraNS15(02).html)



投稿規定とフォーマットを一部、 改めました

新しいものをご利用ください。

<https://coleoptera.sakura.ne.jp/publication/elytra/elytra-bibliography.html#contribution-format>

日本甲虫学会 ニュースレター 第79号

2026年1月29日発行 ※本ニュースレターは主にHPの更新履歴に基づき、プレーンテキストにて不定期でメール配信しています。以後の配信停止ご希望の方はご連絡ください。過去の発行履歴も、PDFでご覧いただけます。

<https://coleoptera.sakura.ne.jp/newsletter/newsletter.html>
web担当委員：蓑島 実務担当：初宿 webmaster@coleoptera.sakura.ne.jp